

環境マネジメントシステム

環境汚染の未然防止および継続的な環境改善を推進するため、国際規格(ISO14001)に準じた環境マネジメントシステムの構築・運用に取り組んでおり、その認証取得目標は次のとおりです。

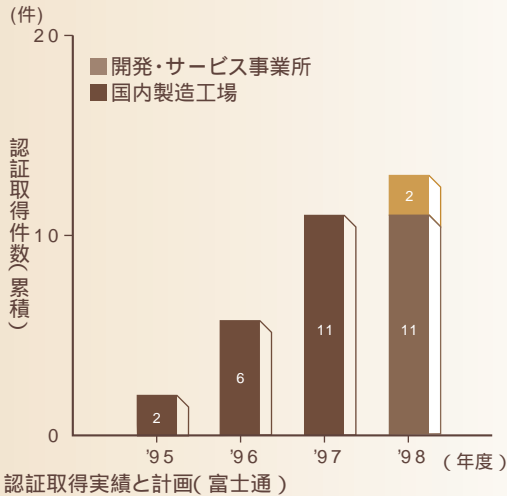
国内製造工場は1997年度末まで

主要な開発およびサービス関連の事業所は2000年度末まで

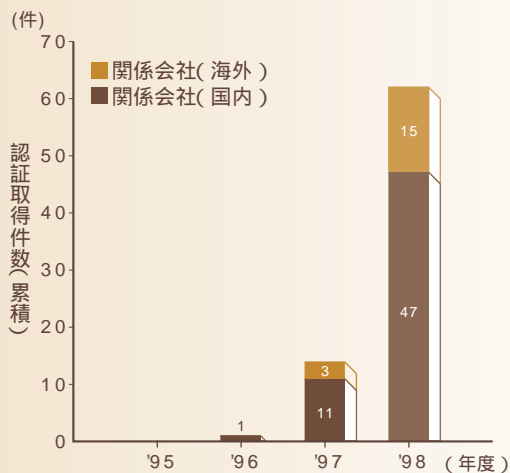
なお、環境マネジメントシステムは、グループをあげて取り組む必要があるため、関係会社の認証取得目標も定めています。

主要な国内・海外の関係会社(製造)は1998年度末まで

* 関係会社:連絡子会社および持分法適用会社



認証取得実績と計画(富士通)



認証取得実績と計画(国内・海外の関係会社)



外部認証審査

外部認証の取得実績

国内製造工場

1997年度は、5工場で認証を取得しました。これにより1997年12月にて全11工場での認証取得が完了し、目標を3カ月早く達成しました。また、認証審査において延べ120件(全11工場)の指摘事項がありましたが、すべて改善を行いました。

国内製造工場

沼津工場	1995年 9月	熊谷工場	6月
那須工場	1996年 3月	明石工場	8月
岩手工場	9月	須坂工場	9月
三重工場	12月	小山工場	11月
会津若松工場	1997年 2月	鹿沼工場	12月
長野工場	3月		

* 色付き部分は、1997年度実績

参考 関係会社

1997年度は、国内8社10工場、海外3社で認証を取得しました。これまでに国内・海外合わせて、計26社28工場で認証を取得しています(1998年8月末現在)。

国内の関係会社

PFU(笠島)	1996年10月	富士通機電(新潟)	4月
山形富士通	1997年 5月	富士通アイネットワークシステムズ	4月
富士通デン(神戸、中津川、栃木)	6,8,10月	アドバンテック(群馬)	4月
信越富士通	8月	富士電気化学(山陽)	7月
富士通東北エレクトロニクス	9月	富士通高見澤コンポーネント(技術開発センター)	7月
九州富士通エレクトロニクス(鹿児島)	10月	富士通周辺機	8月
富士通ヴェルエスアイ(美濃加茂)	12月	富士通カンタムデバイス(山梨)	8月
青森富士通ゼネラル	1998年 1月	しなの富士通	8月
新光電気工業(高丘)	3月		

海外の関係会社

富士通マイクロエレクトロニクス(イギリス)	1997年 6月	富士通マイクロエレクトロニクス(アメリカ)	5月
富士通マイクロエレクトロニクス・アイルランド	8月	富士通タイランド	5月
富士通ICLコンピューター(ドイツ)	11月	富士通アイノテック・アイルランド	7月
富士通ICLエスパニーヤ	1998年 4月	富士通コンポーネント・マレーシア	7月
富士通マイクロエレクトロニクス・アジア	4月		

* 色付き部分は、1997年度実績

主な活動内容

全社的な取り組みの基本となる次の共通規定類を制定・改定しました。

内部環境監査実施規定

内部環境監査実施ガイドライン

内部環境監査員教育実施・登録規定

内部環境監査員教育を14回行い、計270名の監査員を育成しました(登録内部環境監査員累計309名)。

内部環境監査を各工場にて計22回実施しました。延べ1,243件の指摘事項をすべて改善しました。

各工場ごとに各種教育や事故・緊急訓練などを実施しました。

また、グループ全体を対象に次の活動も行いました。

理解浸透や定着化のための講演会の実施(計40回、667名参加)

構築・運用ノウハウの水平展開のための実務者を対象にした交流会の実施

(社内および国内の関係会社:計3回、178名参加)
(海外の関係会社:計4回、30名参加)

情報共有化のためのイントラネットによる共通情報の発信

認証審査時の指摘事項(計260件)

環境パフォーマンスの改善事例(20件)

内部環境監査員登録リスト(309名)



交流会の開催

1998年度の主な実施計画

主要な開発およびサービス関連の事業所については、2事業所で認証取得を予定。なお、この2事業所以外の事業所の具体的な認証取得計画は12月までに決定。

国内・海外の関係会社については、計48社・工場で認証取得を予定。

認証取得済の工場については、環境マネジメントシステムの向上を図る。

なお、計画推進のために次の事項を実施します。

開発およびサービスなどの部門が持つ、間接的な環境影響を低減させるための仕組みの定着

工場間の環境マネジメントシステムの運用、実績、パフォーマンスなどを相互に比較評価する総合監査制度の導入

内部環境監査員のフォローアップ教育によるスキル向上



認定証